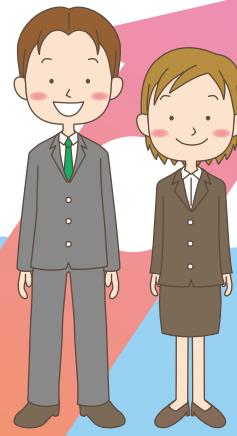


支援をつなぐ 支援がつながる



★★★★ヨコのつながり★★★★

障がいのある子どもの自立と社会参加に向けた成長を促すためには、教育・保健・医療・福祉・労働等の関係機関と連携した支援を行うことが重要です。



★★★★タテのつながり★★★★

障がいのある子どもの自ら学ぶ力や生活する力を育み、持てる力を最大限に伸ばすためには、乳幼児期から成人期までの一貫した支援を行うことが重要です。

★★★★★学校間での引き継ぎ★★★★★

幼稚園・保育所から卒業までの一貫した支援を行うためには、入学時もしくは入学前からの引き継ぎが重要です。そのために「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を活用することはとても有効です。

特に中学校から高等学校への進学にあたっては、中学校での支援を、本人の希望も考慮しながら、入学までのどこかで確実に高等学校に伝えることが必要です。

相談支援ファイルって 知っていますか?

相談支援ファイル

●障がいのある子どもの早期から就労に至る一貫した支援のために、市町村が保護者に渡し、関係機関との連携の際に情報共有を図るファイルです。

●主な内容

- ・プロフィール
- ・受診記録
- ・相談の記録
- ・成長の記録
- ・個別の教育支援計画
- ・個別の指導計画



など

★松江市・安来市……「だんだんファイル」

★出雲市……「子ども支援ファイル」

★江津市……「すくすく手帳」

★邑南町……「相談支援ファイルすこやか」

★海士町……「ぐんぐんファイル」等 各市町村で名称が異なる場合があります。

保護者の方の声

「このファイルを使えば、いろいろなところで同じ説明をしなくて済むわ!」

「この子が大きくなって年金受給時に資料として使える!」

「子どもの成長の記録としても利用できるわ!」



教員の声

「担任が替わる時に、引き継ぎ資料として使えるな!」

「保護者さんと子どもの支援について共通理解することに役立つそうだな!」

「学校間の引き継ぎにとても役立った!」



県教委特別支援教育課HPにモデル事業で作成された市町の様式を載せていますので、ご利用ください。